

よしの たか ひる
吉野剛広 個展『森の言葉』

2016年12月8日(木)→12月13日(火)

10:00~18:30 (最終日は16:00まで)

アートスペース K1 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 2-11

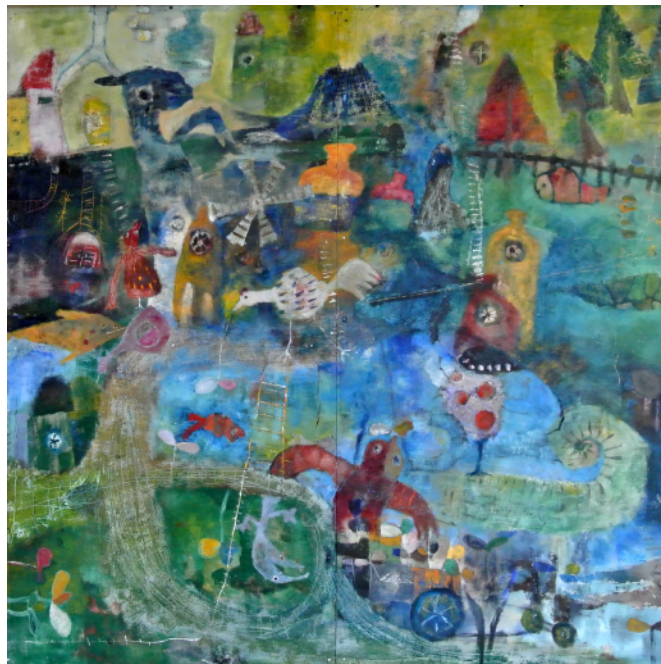
※アクセスは裏面をご覧ください



「たまーに歩くわに」 幅 90cm 木製レリーフ・油彩



「ふくろう」 幅 45cm 木製レリーフ・油彩



「真夜中のさんぼみち」 160×160cm 板に油彩

このたびアートスペースK1は、八ヶ岳在住の画家・吉野剛広の個展『森の言葉』を開催いたします。

森は、微生物のような小さなものから、光や風のような大きなものまでの森羅万象が複雑に関係しあって成り立っている巨大な構造体です。人間の浅はかな知恵では、この「森」という営みのすべてを知り尽くすことはできません。けれども、森の途方もない複雑さの中に分けいってその声に耳を傾けることは、自分は何者か、人間とは何かといった問いに対して大きな示唆を与えてくれます。

2007年に八ヶ岳に移り住んでから、森からのインスピレーションを受けた作品の制作を続けている画家・吉野剛広は、この、森が与えてくれる示唆のことを「森の言葉」と呼びます。

本展覧会では、自分が聴き取った「森の言葉」を他者に伝えようと模索した約9年間の軌跡ともいえる吉野作品を通覧していただけます。



会期中のイベント

中世フィドルのプチコンサート

演奏：上田美佐子（日本中世フィドル協会会長）

12月11日(日)

①13:00~ ②14:30~ ③16:00~ 各15分ほど

入場無料（投げ銭制）

日本中世フィドル協会は、演奏しやすく素朴な音色の中世フィドルをより多くの方に楽しんでいただくため、ジョンルー・ボン・ミュージシャンの中世フィドル奏者でもある上田美佐子によって設立されました。吉野剛広もその趣旨に賛同し、イメージキャラクター「フィドリ」をはじめ中世フィドルグッズの原画などを提供しています。「森の言葉」に満ちた作品に囲まれて、自然なフィドルの音色をお楽しみください。





吉野剛広 YOSHINO, Takahiro

札幌市出身。

北海道大学卒業（動物学専攻）、動物園に12年間勤務。

その後、京都造形芸術大学卒業（洋画専攻）。

2007年長野県原村に移住。

2014年から山梨県北杜市在住、現在に至る。

2013年～2014年 上野の森美術館大賞展入選

WEB: ぺこり庵 <http://www7b.biglobe.ne.jp/~pekori/>

八ヶ岳の麓に住み、森からのインスピレーションを得て制作しています。「物質的ではない豊かさ」を持った憧れの縄文人の暮らしがこの土地で、ここでしか創造できない作品を制作しようと悪戦苦闘しています。「早く安く」と狂奔する現代文明の価値観に一矢報いることができたらと思います。



「火山」 160×160cm 板に油彩



「へび池」 90×90cm 板に油彩

中世フィドルのプチコンサート演奏者 上田美佐子 UEDA, Misako



中世フィドル・レベック共に他の中世楽器に合う調弦法を考案。演奏法においても独自の研鑽をつみ現在に至る。モダン～中世までヴァイオリン・ヴィオラ・中世フィドル奏者として様々な演奏活動を展開。ジョングルール・ボン・ミュージシャンのメンバー。2013年、日本中世フィドル協会設立。
WEB: <http://misako.hanagasumi.net/>

中世フィドルの特徴と魅力

中世に西洋で作られ演奏されるようになった擦弦楽器。俗謡や宗教曲で用いられた。美しい旋律を奏で歌の伴奏をしたかと思えば、舞曲ではリズムカルなパッセージをカッコよく奏でたりドローンで支えたりと中世やルネサンスの音楽で大活躍。

■作家連絡先（会期中作家が常駐します）■

吉野 剛広（よしの たかひろ）

TEL : 090-3764-7785

E-mail : moorhen50862013@hotmail.co.jp

■企画展に関する問合せ■

アートスペース K1 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 2-11

TEL : 090-3546-6618 担当: 藤井

WEB : <http://spacek.art.coocan.jp/>

E-mail : info@spacek.art.coocan.jp

